

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和6年12月4日

提出区分	実績	整理番号	13	課題区分	C
横断的な課題	地域ブランドを活かしたゆたかな暮らしと移住への取組				
地域重点政策	地域ブランドを活かしたゆたかな暮らしと移住への取組				
実施機関	松本地域振興局			担当課	所属 環境・廃棄物対策課
事業名	教育従事者等を対象とした環境教育の普及拡大事業			電話	0263-40-1941
				E-mail	matsuchi-kankyo@pref.nagano.lg.jp
事業概要	目的 (目指す姿)	・2050ゼロカーボンが達成できるよう、気候変動問題やその対策について教職員等が学習する機会を提供することで、小・中・高校等教育現場や地域での環境教育を推進するリーダーとなる人材育成を目指す。 ・持続可能な社会の構築に向けて、今後の社会を見通す洞察力を養うとともに、地域社会における様々なステークホルダーとの相互連携を図りながら、児童・生徒と共に主体的に行動できる教職員等を増やす。			
	現状と課題	(昨年度成果) 前年度は全4回連続形式で、専門家や地域での実践者を講師とした座学(第1、3、4回)、現地見学会(第2回)、グループディスカッション(各回)を実施した。回を追うごとに参加者が増え、また、教職員以外の者にも参加を募ったことから、参加者同士のグループディスカッションでは多角的な視点から意見が交わされた。 (現状) ・松本管内においては、脱炭素先行地域(松本市、生坂村)等の脱炭素化に向けた先進的・モデル的なプロジェクトが展開されており、環境教育に適した地域性を持つ。 ・教育現場では気候変動問題を含めSDGs達成に向けた教育の機運が増しており、「総合的な学習(探究)の時間」がその主な受皿と考えられている。 (課題) 令和3年度からこの研修会を継続開催してきたが、教育従事者からは、環境教育やゼロカーボンに向けた社会の取組に関する十分な知識をもつ教職員が少ないこと、また、地域の人材と繋がることに困難さを感じていること等の課題が聞かれる。			
	内容 (変更後の内容)	令和5年度事業を踏襲し、全3回の研修会で年間プログラムを構成する。 小・中・高校等で児童・生徒の指導にあたる教職員等を対象に、気候変動問題やゼロカーボン施策等について、基礎知識や地域での取組等についての座学や現地見学、環境学習への実践(授業づくりや啓発企画づくり)についての演習を実施する。 ○開催方法 5月から10月まで、3回に分けて研修会を開催する。各回の研修はそれぞれが連係した内容となるよう全体プログラムを構成する。開催方式は、1回目は松本合庁204号会議室とWeb会議システムとの併用、第2回及び第3回は現地開催のみとする。 ○概要(日時及び内容) 第1回「ゼロカーボンの基礎とこどもたちの学び」、5/31(金)、専門家による講義及び中信教育事務所指導主事による演習 第2回「地域課題とゼロカーボン」、8/5(月)または8/6(火)、社会見学会、場所:乗鞍地域 第3回「こどもたちとゼロカーボン」、10/31(木)、白馬インターナショナルスクール代表理事による講義、場所:同校 ○変更点 当初計画より打合せ回数が減少し講師謝金が減少する見込みの一方、事業者からの概算見積によると貸切バス料金が不足する見込みのため、計画額を変更する(7節から13節への節間流用)。			
	事業期間	令和6年5月 ～ 令和6年10月			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	教職員等を対象とした研修会	研修会(座学)の講演、打合せ	144,300	講師謝金等	
	教職員等を対象とした研修会(第2回、第3回)	社会見学会	143,220	バス借上げ等	
	合 計	287,520			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	環境教育や社会におけるゼロカーボンの取組等に関する知識が増えたと回答した参加者の割合(実施後アンケートによる)		70%以上	85%	● 達成
	研修会参加者総合満足度(実施後アンケートによる)		80%以上	88%	○ 一部達成
	研修会延べ参加人数		35人以上	37人	○ 未達成
事業実績・成果	成果指標の目標値は全て達成した。特に実施後アンケートによると、「環境教育や社会におけるゼロカーボンの取組等に関する知識が増えたと回答した参加者の割合」は目標値を大きく上回っており、本事業は教職員等に対する環境等の知識提供の機会となった。また、参加人数では37人だが、申込者数では41人となった。				
今後の方向性	継続して取り組んでいる結果、例えば第1回の参加人数は過去の回と比べても多くなるなど、研修に対する認知度が上がっていると感じている。実施後アンケートによると参加者の満足度も高いため、今後も継続したい。				